

【大阪府公共事業における】景観アドバイザー対応報告シート

記入日	2024/11/1			
記入者	所属	大阪府都市整備部住宅建築局公共建築室住宅建築課（1期）		
	担当者名	東、山中	連絡先（内線）	4626
事業名称	大阪府宮阪南尾崎6丁目住宅建替事業			
景観アドバイザー会議の実施状況	実施の有無	あり（義務）	第1回	2024/2/29
	第2回	2024/11/19	第3回	

項目	アドバイザーからの意見	アドバイスへの対応	
景観の目標設定			
景観の目標設定	景観の目標設定において、建物以外もどう見えるのかを考えるほうが良い。計画地は海に面した敷地であるため、建物はむしろ目立つ必要はなく、後ろの風景をいかにうまく見せるかに注力してほしい。	対応状況	検討中
		団地アプローチから大阪湾に向かって団地内道路を配置しその奥に広場を設けます。広場までの視界を遮らないよう配慮します。	
ゴミ置場のデザインや配置	ゴミ置場を屋根付きの建築物とする場合は、デザインに尽力してほしい。デザインすることが難しいのであれば、少し道から離し、道との間に樹木を配置することや、窓が設置しやすい設備室と配置を入れ替えるなど、細かい配置と形状を考えてほしい。	対応状況	検討中
		ゴミ置場は屋根付とします。住棟の動線から離れた位置に配置して、間に樹木を配します。動線から直接見えないよう配慮します。また、ゴミ置場が大きすぎる為できるだけ目立たないように2か所に分けることで住民の動線にも配慮します。	
緑化等による環境配慮	公的施設は地域の緑の核となることが多いので、本敷地においても周辺に緑の風景を提供できるように考えてほしい。	対応状況	検討中
		敷地沿いに樹木を設け団地内の広場・公園にも植栽を設けます。周辺に緑を提供する配慮を行います。	
ボリューム感	コンセプトに緑化等を含むのであれば、建築物の配置計画と同時に緑地の配置を検討するほうが良い。	対応状況	検討中
		建築物の配置計画と同時に緑地の配置案を検討し周辺に緑を提供するよう配慮します。	
ボリューム感	竣工イメージの壁面が大きいボリューム感では、景観形成の目標に掲げる「周辺との調和」のなを大事にしているかが疑問。例えば、周辺の住宅の大きさや、漁港に泊まっている船の大きさなどを考え、細かなスケールが繋がるようなイメージ図があると分かる。	対応状況	検討中
		バルコニー面の表情に変化を加えて壁面が分断されているようなイメージになるよう配慮します。	

緑地へのアクセス	広場があるが駐車場の車越しにしか見えないため、気持ち良くアクセスできるものではない。戦略的に確保している緑地へアクセスしやすいよう配置を考えてほしい。	対応状況	検討中
		駐車場の配置を見直すことは困難ですが、広場までの動線に沿って樹木を配置し、駐車場の車が視界に入らないよう緩和することに配慮します。	
		対応状況	

	第〇回アドバイザー会議での意見	
		対応状況
		対応状況
*****	第〇回アドバイザー会議での意見	
		対応状況
		対応状況
第〇回アドバイザー会議での意見		
	対応状況	
	対応状況	